

こどもの安心・安全な環境を考える

～家庭・学校での実践を通じて～

こどもは自分の思い通りにならなかったり、慣れない環境に置かれたりすることでイライラしたり、感情を爆発させたりすることがあります。こどもが穏やかに成長していく環境をどうやって作っていったらいいのでしょうか。

宮田賢吾氏は元特別支援学校教諭としての経験も踏まえながら、「こどもの行動をいきなり変えようとしても難しい。周りの環境を変えることでこどもも変わっていく。」と言っています。

長年、こどもと向き合ってきたベテラン保護者からは、

- ・サービス利用で親が穏やかになる。
 - ・学校の先生や医師など、いろんな専門家に相談することも重要。
 - ・日々の小さな積み重ねが、成果に結びつく瞬間がある。
 - ・こどもは大切。でも自分の人生も諦めない。
- など、多くの子育てエピソードをもっています。

この機会に、子育てする上でいろんなヒントを聞いてみませんか。

基調講演：宮田 賢吾 氏（高知大学教育学部）

話題提供：森本 俊輔 氏
久世 恭子 氏

日時：2026年2月21日（土）14：00～16：30（開場13：30）

会場：明石市立ふれあいプラザあかし西 1階 多目的室

定員：30名（無料）

お申し込み

- QRコードより事前予約をお願いします。
- 先着30名の定員に達しましたら、あおぞら園HPにてお知らせします。



申込QRコード

お問合せ

- 明石市立あおぞら園
TEL：078-945-0280
<https://aozorakirakira.com>



あおぞら園 HP

主催：明石市立あおぞら園・ゆりかご園

プログラム

14:00～14:05	開会・趣旨説明
14:05～15:05	基調講演 宮田 賢吾 氏
15:05～15:15	休憩
15:15～16:05	話題提供 森本 俊輔 氏 久世 恭子 氏
16:05～16:30	ディスカッション (質疑応答)

講師プロフィール

宮田 賢吾 氏 (高知大学教育学部講師)

兵庫県内の特別支援学校で約12年間、勤めていました。児童生徒、保護者、一緒に努めた先生方から様々なことを学ばせていただきました。今回のセミナーでは、子どもを中心に考える、今できる支援を一緒に検討できる機会になりますと幸いです。

森本 俊輔 氏

発達に特性のある男子（現25歳）の保護者。子供が2歳のとき、自閉症と判明。悩みや戸惑いを抱えながらも、家族や学校、支援者とともに歩んできた経験を持つ。今回は保護者の立場から感じた不安や学校や地域から支えられてきた経験から子育てに関するヒントについて語る予定。

久世 恭子 氏

重度知的障害を伴う自閉症の息子(20歳)の母親。放課後等デイサービス「なないろの家」で児童発達支援管理責任者を努める。迷い立ち止まりを重ねながら、仲間はずれにしない関わりを大切にしてきた。今回は、子どもが安心して日常を過ごすための工夫について、家庭や学校での経験をもとに母親の立場から語る。

会場案内

住 所	〒674-0092 明石市二見町東二見1836番地の1 ふれあいプラザあかし西 1階 多目的室
連絡先	TEL : 078-945-0280 FAX : 078-945-0281 E-Mail : aozorakirakira@sandaya.or.jp
交通機関	電車 : 山陽電車「東二見駅」徒歩約12分 バス : Tacoバス 西岡東ルート「ふれあいプラザあかし西」停留所下車 車 : 第二神明明石西インターから車約10分
駐車場	駐車場あります (3時間まで無料)